



第23号
2018.01

真庭商工会報



目次

商工会長年頭挨拶・新会員紹介……………P2	専門家の声……………P9
真庭市長・新庄村長挨拶……………P3	求人情報……………P10・P11
真庭商工会創業特集ページ……………P4~P7	お知らせ……………P12
○サポートセンターより	
労働保険特集……………P8	
○労働保険事務組合	
○最低賃金	

蒜山ペアバレースキー場

真庭市蒜山本茅部にある「ひるぜんペアバレースキー場」は蒜山ICより約5分と非常に交通アクセスのよいスキー場です。営業期間中は、曜日を問わずナイター営業しており(ゲレンデコンディションによっては中止もあり)全面スノーボードの滑走が可能です。

真庭市蒜山本茅部644-105
TEL 0867-66-5333
ゲレンデ積雪情報 TEL 0867-66-5400



新年のご挨拶



真庭商工会
会長 山下 豊

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は商工会の事業に格別のご支援、ご協力を賜わり、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、突然の総選挙で自民党が勝利、第4次安倍内閣がスタートしました。山積する国内外の課題に適切に対処して頂き、国と国民の暮らしを守って頂くと共に地方創生をしっかりと実行して頂けるものと期待しております。

一方真庭市では市長選、市議選が行われ、太田市政も二期目に入りました。市長の卓越したリーダーシップのもとバイオマスやCLTなど全国に先駆けて取り組んできた事業を更に強力に推進し、その恩恵が広く真庭全体に行き渡り、真庭市が日本の中山間地域の目標とされる地域になるよう一層の取組みを期待いたしております。

さて国内経済は、金融緩和と政策や、アメリカ経済の活況等々により様々な業種で業績が向上し、大企業は空前の利益をあげておりますが、地方では一部の業種を除き依然厳しい状況が続いております。加えて人手不足が更に深刻になり、仕事は少子化と人口の都市への流出が止まらない中山間地で深刻です。

昨年十月の工業部会の視察研修で訪問し

た徳島県神山町は、山の中の典型的な過疎の町でしたが、先進的なインターネット環境と豊かな自然、多様な人たちが受け入れる風土と住民性を売りに国内だけでなく海外からも多くの移住者を迎え入れ、東京などのIT企業がサテライトオフィスを構えたり、本社を移したりで、過疎の町が元気を取り戻しています。

商業部会の視察で訪れた兵庫県丹波市も田舎の小さな城下町。町づくり会社古い町並みの空き家を買取り又は、借り上げ、来て欲しい業種に限定して貸し出し、町並みの賑わいが戻りつつあります。

どちらの取組みも商工会の会員が中心となつて立ち上げた組織が主導したものです。バイオマスで全国に名を馳せたこの真庭も正にそうでした。私たち商工会が先頭に立つて知恵を絞り、汗を流さなければ地域の未来は拓かれません。今真庭では商工会主催の創業塾や経営革

新塾の出身者が続々と起業したり、新規事業を立ち上げたりしております。これも昨年度より本格的にスタートした経営発達支援計画に基づく創業支援や経営革新、新事業展開支援等伴走型経営支援の効果が出てきたものだと思います。今年も更にこの取組みを拡大強化して行きます。皆様とともに更に元気で人が集まる魅力溢れる地域を作って行きましょう。会員皆様の今年一年のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



平成29年度むらおこし特産品コンテスト 真庭商工会から2事業所が受賞!!

本コンテストは、日本各地の地域資源の活用や商工会の助言・協力のもとに開発された特産品の普及や販路開拓を支援することを目的に全国商工会連合会が実施しており、今回で30回目を迎え、地域特産品の全国市場への登壇門として高い評価を得ています。郷土色、訴求力、市場性、将来性などをポイントに、2次にわたる厳正な審査の結果、真庭商工会事業所より2社が受賞されました。

- 中小企業長官賞(非食品部門)
「結の香 ホワイテセラム」
株式会社エイチケイ商会
(久世地区)
- 全国商工会連合会長賞(非食品部門)
「新庄村生まれ okayama ひのき精油葉」
株式会社ビーエムティー
(新庄地区)

今後は平成30年2月7日(9日)に東京ビックサイトで開催される「第23回グルメ&ダイニングスタイルショー春2018」に出展されるなど、商品のPRや商談会に臨まれる予定です。



新庄村生まれ okayama ひのき精油 葉



結の香 ホワイテセラム

新会員さん紹介 (敬称略受付順)

平成29年5月～平成29年9月

- ◆ 落合
株式会社八幡建築事務所
(株)醍醐板金
中古車販売店グッドカスタム
坂本椎茸
カナリンクレープ
- ◆ 久世
南古谷木材
永田訓弘
かこみ
Salon de Lunarica
オムナリ
池田興業(株)
KM工業
笑彩風
- ◆ 勝山
網島啓太
南岡本製作所
(株)ライフギアプロジェクト
ギャラリーカフェ Blue Bee
(株)MATSURIKA
- ◆ 美甘
高匠
横山瓦技研
皆徳
- ◆ 湯原
とりへえ
Picnic or market?
木工房ものたね
榎福来屋
かすらや工房
- ◆ 蒜山
蒜山美甘
KAYABE 室
美馬整体院
郷原漆器生産振興会
- ◆ 新庄
(株)ビーエムティー
山陽新聞新庄販売所

商工会は頑張っているあなたを応援します！
金融・税務・労働など日常の相談はもちろん、
専門家の派遣も行います。



新年のご挨拶



真庭市長
太田 昇

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望にあふれる輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より本市の商工業をはじめとする産業振興にご尽力を賜り、本市が掲げる「回る経済」の確立に向け、大きく寄与されており、市政各般にわたる深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さらに、真庭商工会におかれましては、創業の促進を図る「創業塾」の開催をはじめ、各種創業支援や経営革新・新事業展開支援などのほか、地域経済を牽引している市内事業者の伴走役として経済界を支えていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

新年のご挨拶



新庄村長
小倉 博俊

新年あけましておめでとうございます。真庭商工会の皆様方におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、地域の産業・経済の振興に大きな役割を果たしておられることに敬意を表しますとともに、村政運営に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新庄村における「まち・ひと・しごと総合戦略」及び「地域再生計画」に基づく地方再生に関する取組みも3年目を迎え、それぞれの経過に基づく具体的な施策

さて、本市においては、多くの市民の皆様が参画を得て策定した「第2次真庭市総合計画」や「真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの諸計画に基づき、地域資源を生かし、全ての人が存在感をもって輝く「真庭ライフスタイル」の実現を目指し、市民の皆様と共に市政を展開しております。

農山村の小さな自治体に過ぎない真庭市でありながら、木質バイオマス事業を代表とする地域資源を活用する取組は、地方創生担当大臣が2代に渡り視察に訪れるなど、地方創生の成功事例として高く評価していただいております。その中で、平成27年4月に稼働した真庭バイオマス発電所をはじめとするバイオマス産業部門は、当該年度の市内生産額が61.4億円、粗付加価値額は25.8億円の経済効果をもたらしています。さらに、バイオマス産業部門だけでなく、道路輸送、機械修理などの多くの部門で、生産額と粗付加価値額が共に増加していることは、その効果が異業種に波及しているという、まさに「回る経済」に繋がっていることを物語るものであると考えております。

一方、昨今の雇用情勢においては、有効求

を進め、目標の実現に向けて全力で実施しているところとす。

豊かな自然環境とその中で育まれるさまざまな資源に恵まれた新庄村においては、ヒメノモチ生産をはじめとする農業や、スギ・ヒノキといった人工林資源を活用した林業などの第一次産業を基盤として、新たな産業・事業体の育成と雇用の確保が重要な課題であるものと認識しており、こうした取組みを通じて、若年層の流出防止と移住・定住の促進を図り、人口減少の抑制と産業の再生と振興を目指しているところとす。

こうした中、農業・林業については、村民の代表者を含むそれぞれの関係者からなる活性化委員会を設置し、新庄村における農業・林業の将来像について熱心な議論を続けているところであり、今後、委員会における議論に基づく具体的な施策の実現を期待しているところとす。

も人手不足感が更に高まり、多くの市内事業者が人材確保の問題を抱え、生産性向上を図る上で大きな課題になっております。

本市では、こうした状況に危機感を持ち、一昨年創設した「真庭市未来を担う人応援基金」を財源とした「インターンシップ奨励事業」をはじめ、昨年新たに「企業説明会出展支援事業」や「ふるさと企業見学バスツアー」などのメニューを追加し、市内事業者の人材確保の支援を強化しています。さらに、県内自治体で初めて、国の中小企業等経営強化法による経営力向上計画の認定を受けた市内事業者の生産性向上が行う設備投資を支援する「経営力向上支援事業」を創設しました。このような事業者の攻めの投資を後押しするため、新年度も引き続きこうした事業により、意欲をもって事業に取り組む皆様方を支援してまいります。

このほか、昨年は中小企業地域資源活用促進法に基づく「ふるさと名物応援宣言」の第1弾として、蒜山高原での体験・交流を活かした「蒜山ツーリズム」と蒜山の自然が育った商品」をふるさと名物として応援することを宣

ん桜を核とした活力ある街づくりを目指し、都市再生整備事業による桜の育成環境の整備や新たに古民家を改修した宿泊施設の整備に着手しました。このほか平成27年にオープンした道の駅「メルヘンの里新庄」については、交流人口の増加と村民の利便性向上と産業振興を目的として、本年4月のリニューアルオープンを目指し、老朽設備の更新と機能強化のための改修を行っているところとす。

こうした取組みにより、入り込み・滞在人口を拡大し、がいせん桜通りをはじめとする村内の経済の活性化、賑わい創出を目指します。

新庄応援団の「ふるさと納税」については、新庄村の美しい環境や地元特産品等に対して全国の皆様から、温かいご関心をいただき、昨年度を上回る大きなご支援をいただいているところであります。皆様からのこうしたご支援を活用させていただくことにより、一昨年に設立された、(株)まちづくり新庄村による、がいせん桜通りのコワーキングスペース

言し、「地域ブランド」の育成・強化を図り、売上や雇用の増大により、地域経済の好循環につなげていくこととしました。また、多彩な真庭の地域資源を活かして「人」「地域」が連携し、幅広い産業へ効果を生み出す「観光地域づくり」を目指し、観光マネージメント機能を有する観光推進体制である「真庭版DMO」の設立について準備を進めているところとあります。さらに、女性が活躍する社会実現に向け、真庭市産業サポートセンターを中心に、地域資源を活用した新事業の開発から販路開拓までの支援やセミナーなどの開催などにより、女性の創業機運の醸成も図ってまいります。

人口減少、少子高齢化が進む中、課題は多くありますが、未来志向で志を高く持ち、課題解決に果敢に挑戦し続けるならば、道は必ず拓かれるものと確信しております。今後も引き続き、人や企業を惹きつける「魅力ある真庭」「未来につながる真庭」を共に築こうではありませんか。

結びに、本市商工業の発展を担う真庭商工会並びに会員皆様の益々のご繁栄とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

ス「咲蔵家」の運営や、小中学生を対象とした「デザイン思考」を取り入れた教室の実施など、村民の生活環境の充実・向上が実現してまいりましたし、成果を上げております。今後とも、寄付をいただいた皆様のご期待に応えられるよう、施策の充実に努めてまいります。

こうした取組みの成果もあつたからか、平成28年度以降、人口の減少傾向に歯止めがかかりつつあり、若干ながら社会人口増加の兆しも見え始めています。これを一過性のものとしないうちに、冒頭に掲げた戦略・計画に基づく具体的な施策の実現により、小さな村だからこそできる個性・特色ある取組みを、村民の皆様とともに全力で努めてまいります。その際には、何卒、真庭商工会の皆様方の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本地域の振興と発展を担う真庭商工会のますますのご繁栄と、皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

真庭商工会では皆様の夢を実現する 創業のお手伝いをいたします!!

みなさんは「創業」にどのようなイメージをお持ちですか？漠然とした中でなかなか実行に移せないという方も多いと思います。確かに創業を実現するまでの道のりは険しいものですが、真庭商工会では情報、アイデア、ノウハウを駆使して皆様の創業をご支援いたします!!
今回は、真庭商工会が支援した創業者の方の事例を創業特集ページとして作成しました。

創業特集ページ

真庭商工会管内で創業された方で商工会が支援をおこなった事業所です。

「地域の核を目指して」 レストランの創業 (北房地区)

平成29年創業 レストランアクア 代表者：清水 雅和

○創業までの経緯

夫婦で飲食業に20年以上携わり、自分の想いを形にしたいという夢をかなえるため、商工会にお越しになりました。

商工会では、創業計画の具体的なプラン作成を中心に金融、税務に係る支援を実施いたしました。そのなかでも創業計画の作成においては、今までの経験とスキルを活かすことに重点を置いたことで明確なイメージを掴んでいただけたものと思います。

○事業者の声

オープンから約9ヶ月が経ち、おかげさまで大勢のお客様にお越しいただいております。今まで経験することのなかった経営に関する問題などは、商工会の方にお伺いして毎日学んでいる状況です。サラリーマンの時とは違って経営する立場は様々な責任が発生するために毎日が緊張の連続ですが、経営環境を敏感に感じ取って、お客様の立場にたったサービスと雰囲気作りを忘れずに努力していきたいと考えております。



「徹底したサービスの追求を目指して」 美容室の創業 (落合地区)

平成28年創業 「美容室yume」 代表者：本元 弥生

○創業までの経緯

今までの経験を活かしたサービスを提供するために店を持ちたいという夢をかなえるため、商工会へ相談にいられました。

店舗建設からオープンまでの創業準備期間において、創業計画書の作成、金融、経理など全般に対するの支援を実施いたしました。そのなかでもマーケティング戦略に関する分析においては今後の方向性を提案できたと思います。

○事業者の声

おかげさまでオープンからまもなく2年を迎えます。大勢のお客様にお越しいただいており、皆さまの言葉を参考にしながら、創業前の自分の想いをカタチにしている最中です。これからもお客様の「想い」を汲み、さらなるサービスの追求をしていきたいと思っております。



○真庭市起業支援補助金(真庭市起業支援事業について)

真庭市内で起業される方を対象に、起業にかかる各種費用に対し最大100万円の補助が受けられます。

まにわ創業塾等を受講された方は、補助の上限が100万円から150万円に拡大されます。

尚、上記補助制度は平成29年度の情報であり年度により変更となる場合がございますので、申請をお考えの方は必ず真庭商工会までお問い合わせください。

「お客さまを笑顔にする料理を提供したい」 創作料理店の創業 (久世地区)

平成29年創業 「和風創作料理 いちろ」 代表者：古河 大介

○創業までの経緯

大阪と真庭市内で飲食業に12年従事し、自分の店を持つという信念のもと創業を決意され、商工会を訪ねて来られました。商工会では事業計画を中心に資金調達、販路開拓、各種届出など創業に関する全般的な支援を実施し、創業者の不安をひとつずつ取り除くことに注力いたしました。

○事業者の声

オープンから約10ヶ月が経ち、常連のお客様も増え料理をお出しする事にも慣れて、今では団体客の受入も出来るようになりました。しかしながら新人の経営者としてはこれから学んでいく事がまだまだ多いため、今後も商工会の支援を受けながら、自らの理想を実現するべく精進し、お客さまが笑顔になるような料理を提供していきたいと考えています。



「癒しと安らぎの空間演出」 カフェとギャラリーの創業 (勝山地区)

平成29年創業 「ギャラリーカフェ Blue Bee」 代表者：須藤 富紀子

○創業までの経緯

自然あふれる地でカフェ・ギャラリーをオープンしたいという夢をかなえるために、自分の理想に近かった勝山町並み保存地区での創業を決意し、姉妹で関西から移住されました。創業準備期間に商工会へお越しになられ、カフェと和紙工芸品ギャラリーの具体的な事業プランの相談から真庭市起業支援事業補助金の申請支援を実施し、税務・資金繰り・販売促進方法などについても様々な提案をおこなうことで問題解決の道筋を掴んでいただけたと思います。

○事業者の声

オープンから約半年が経ちますが、地域の方々のご支援・ご紹介もあって大勢のお客様にお越しいただいております。継続的に商工会の方に巡回をしていただき専門家の利用などで順次事業計画進捗を確認・修正しており、今まであまり経験することのなかった自店PR方法や税務のことなども日々学んでいる状況です。日々の勉強をもとに、お客さまの声を大切にしたいサービスの開発やお店の雰囲気作りに努めてまいりたいと考えております。



○専門家による窓口・巡回個別相談 (伴走型小規模事業者支援推進事業)



福本 和来 氏
(㈱フクモトタクシー)

・利用者の声

今回の相談は、事業承継のイメージを持つことができ、漠然とした不安や不満を解消するヒントを得られ、モチベーションの向上に繋がりました。商工会の専門家相談は何回でも利用でき、その度に私にやる気を与えてくれました。

私は、会社の将来について相談ができる人がいませんでしたが、専門家と話をする機会が持て、非常に助かりました。皆様もぜひ利用して、自分に合った使い方を身につけて下さい。



藤井 正徳 氏
(中小企業診断士)

・専門家の声

わずか数カ月月のあいだに「成長戦略」を磨き、「行動計画」を立案し、ホームページ・チラシ等の整備や営業活動の「具体策」まで、一気に実践された行動力が素晴らしい方です。

きっかけは明確な課題意識ではなかったかもしれませんが、「現状に満足してはいけな」という強い気持ちを、真庭商工会武内指導員とも一緒に具体化できて嬉しく思います。「漠然とした想い」を「具体的な行動」に一。今後もぜひ多くの会員様に窓口相談をご活用頂ければ幸いです。

「地域の方が集える場所を作りたい」 居酒屋の創業 (湯原地区)

平成29年創業 「とりべえ」 代表者：金子 愛子

○創業までの経緯

平成29年3月末に郵便局を退職し、地域の方が集まれる場所を作りたいとの思いから飲食業を起業することを決意し、商工会へ創業の相談をおこない、真庭商工会主催の創業塾を受講されました。商工会では、創業計画書の策定、真庭市起業支援事業補助金の申請支援を実施し、スケジュールどおりの創業に繋がりました。

○事業者の声

オープンから約3ヶ月が経ちますがおかげさまで大勢のお客さまにお越しいただいております。すべてが初めての経験です。お客さまに助けられ日々勉強です。最近では、旅館などからの紹介もあり、当初想定していた地元客にとどまらず、観光客の方が来店される割合も徐々に増えてきています。毎日が新たな出会いの連続で緊張しますが、お客さまの立場にたったサービスと経営理念である「地域の方々が集える場所を作りたい」を忘れずに努力していきたいと考えております。



「人生の第2ステージを新たな目標と共に」 観光農園の創業 (蒜山地区)

平成27年創業 「カルチベート観光ブルーベリー園」 代表者：宮永 優

○創業までの経緯

公務員を定年退職し、人生の第2ステージとして新たな事業を立ち上げるとい夢を思い描き商工会にお越しになられました。

豊かな自然の恵みがある「蒜山」の良さを活かした観光農園をオープンするため、京都の芸大に入学してランドスケープデザインを学び創業への準備を整えられており、商工会としては強みを活かす事業計画策定や各種補助金の支援を実施いたしました。

○事業者の声

観光農園のブルーベリーは夏季限定となっているため、収穫体験のPR、加工食品開発、圃場を活用した各種文化イベントの企画を検討しています。事業はまだまだ始まったばかりですが最終目標である蒜山高原 Cultivate-Gardenの完成に向けて様々な取組を始めたいと思っており、今後も商工会には支援をお願いしたいと考えています。



アグリフードEXPO 東京2017 出展から次のステップへ

2017年8月23日～24日 東京ビッグサイト

ご出展企業：オブリガード(有)／(株)古見屋羊羹／(有)醍醐桜
ヒルゼンミルク(株)／(株)FONTEC R&D

商品をお探しのバイヤーさん。協力業者をお探しのメーカーさん。仕事柄、色々な展示会に立ち会いますが、アグリフードEXPOは熱心なご来場者様が多いのに驚かされました。今回の出展者様には、まずヒアリングを行い商品のアピールポイントをできるだけ簡単な言葉でご来場様に伝えることに努めました。

どのような商品やサービスにも作り手の思い入れは必ずあります。その作り手の見逃しがちな思い入れをお客様に伝えることが成功の鍵だと再認識いたしました。

商工会企業さんにおかれましても、今一度見逃しがちな思い入れを「情報を整理して価値を文章化」されることを常日頃からおすすめいたします。今回の出展者様には、このアグリフードEXPOの出展を通して、「未来の価値を創造」するステップにしていたきたいと切に願っております。



(株)アドボックスフォトグラフィ
代表取締役 石崎 公生

1967年大阪府高槻市生まれ。日本写真専門学校卒業後、岡山のデザイン事務所のカメラマンとして勤務後、独立起業。岡山で写真撮影を始め、クリエイティブディレクターや講師としても活動中。

